

ゲート型マイクロチップリーダー贈呈式

去る5月3日火曜日正午過ぎから青森県動物愛護センターにおいて、公益社団法人日本獣医師会から青森県に寄贈されたゲート型マイクロチップリーダーの贈呈式が行われました。今後、マイクロチップが普及し、災害時の迷子犬などや殺処分動物の減少が期待されます。



公益社団法人青森県獣医師会山内会長から青森県動物愛護センター佐々木所長へ目録の贈呈



山内会長の挨拶



ゲート型マイクロチップリーダー前で：山内会長と佐々木所長



寄贈したゲート型マイクロチップリーダー

マイクロチップ



直径 2 mm、長さ約 8 ~ 12 mmの円筒形の電子標識器具で、内部はIC、コンデンサ、電極コイルからなり、外側は生体適合ガラスで覆われています。チップには、世界で唯一の 15 桁の数字（番号）が記録されており、この番号を専用のリーダー（読取器）で読み取ることができます



ゲート型マイクロチップリーダー



マイクロチップリーダー



読み取られた15桁の番号